



足立区生物園今年も羽化に成功

絶滅危惧種「フサヒゲルリカミキリ」 生物園で初となる生体展示が決定！

令和5年6月9日 送付枚数：1枚

！ここがポイント！

■初展示！フサヒゲルリカミキリ

昨年、国内2例目の繁殖に成功した「フサヒゲルリカミキリ」を初展示します。体長2cm弱、触角に房状の毛と体に光沢のある瑠璃色をした美しい成虫。寿命は約1か月程度で、本種を見られるととても貴重な機会です。

■昨年は残念ながら・・・

昨年は羽化に成功したものの、個体数の安定のため成虫は全て次代に繋ぐための繁殖個体として活用いたしました。そのため、生体展示を実施するには至りませんでした。

■今年は多くの羽化を実現！

繁殖個体が産卵して次代へと命を繋いだ結果、今年は昨年の羽化頭数の倍以上となる39頭の成虫を確認(6/2現在)。そのため、今年度は繁殖用の個体を維持しながら、公開展示用の個体も確保できました。

◆苦労した繁殖技術

フサヒゲルリカミキリは、環境省の「保護増殖事業」の対象となる絶滅危惧種。生物園では、平成30年6月から本種の生息域外保全（生物や遺伝資源をその種の生息地外において保全をし、それら生物の科学的知見を得ると共に、繁殖をして絶滅を回避する取り組み）を兵庫県伊丹市昆虫館と連携して行ってきました。担当飼育員は、伊丹市昆虫館との情報交換や、六甲高山植物園、白馬五竜高山植物園の協力を得ながら繁殖技術の向上に努め、そして迎えた令和4年6月に国内の繁殖としては2例目となる快挙を成し遂げました。ぜひ、取材・報道をお願いします。



▲今年羽化したフサヒゲルリカミキリ

フサヒゲルリカミキリ概要

フサヒゲルリカミキリ (*Agapanthia japonica*) は、かつて北海道、岩手県、群馬県、長野県、山梨県、神奈川県、岡山県、鳥取県、広島県などに広く分布していましたが、多くの生息地が開発や管理放棄による植生遷移で失われ、近年では岡山県でのみ生息が確認されています。きわめて絶滅の危機が高い種であることから、環境省レッドリストにおいて絶滅危惧IA類に、平成28年からは国内希少野生動植物種に指定されています。

現在開催中の「絶滅危惧の昆虫展」でフサヒゲルリカミキリの生体を特別展示！

- 場 所：足立生物園 2F むしむしコーナー（足立区保木間 2-17-1）
- 展示期間：6月6日（火）～7月9日（日） ※生体の状況により展示期間は変更の可能性あり。
- 開園時間：午前9時30分から午後5時まで
- 休 園 日：毎週月曜日
- 入 園 料：①小中学生 150円 ②高校生以上 300円 ③未就学児無料

■ 本件に関する問い合わせ先

足立区生物園 責任者 関根 広報 大川 ☎03-3884-5577

■ 発信者

政策経営部 報道広報課 報道担当 谷内 ☎03-3880-5816 ㊟070-5598-7874